

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 04-005

PDCA	事務事業名	地域環境整備事業	部課等名	企画部 市民協働課 市民協働担当	担当	岩田		
					内線等	236		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第1章 協働によりともに高め合うまち						
		節：第1節 協働のまちづくりの推進						
		基本施策：3. ボランティア・市民活動支援						
		単位施策：(2) ボランティア・市民活動支援体制の充実						
	根拠法令等	地域環境整備事業実施要綱						
	対象・目的	道路、公園等、公共施設の小規模な修繕や環境整備について、自治区や市民活動団体等に必要な資材の提供を行い、作業を行ってもらうことにより、まちづくりへの参加意識の向上を図る。						
	目的を達成するための手段・活動内容	修繕や環境整備に必要となる原材料を自治区や市民活動団体等に支給する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①原材料（土砂・木材等）支給件数		28	26	19	件	
		②						
		③						
		事業費		1,025	1,490	1,214	千円	
		人件費		2,568	2,555	3,186	千円	
		総事業費		3,593	4,045	4,400	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①支給1件あたりの事務コスト		128	156	232	千円		
	②							
	③							
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①地域環境整備事業実施団体数	実績値	23	21	17	団体	
			目標値	25	29	30		
②新規実施自治区件数		実績値	—	3	1	件		
		目標値	—	3	5			
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	C						
		活動実績は例年を下回ったが、飛散防止パーテーション整備といったコロナ禍における新たな取組みも実施できた。また、未実施地域の自治区に対して、実施事例を紹介し、新たに1自治区で実施することができた。今後も、市民の意見やニーズを把握し、公共施設等の環境整備を推進する必要がある。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			10団体ある未実施の自治区に対しても、その地域に適した実施事例を紹介するなど、積極的に働きかけを行うとともに、市民の意見からニーズを把握し、課題解決に向け事業提案するなど、公共施設等の環境整備をより一層進めていく必要がある。					
		令和3年度の目標					目標値	単位